

## 平成30年度町政懇談会総括（庁舎整備編）

### 1 概要

平成30年度町政懇談会は、町長が会場へ赴き、直接に地域住民の生の意見を伺うことにより、住民の皆様ご意見を尊重する「町民ファースト」の行政運営に繋げることを目的として実施しております。平成30年4月18日（水）の両神下薄農民センターから、5月29日（火）の両神振興会館まで、町内16会場、全18回開催され、延べ490人の参加がありました。

前回実施の平成27年とは、開催形態、開催回数異なるために単純な比較はできませんが、実施箇所数と回数の増加もあり、参加者数は大幅に増加しました。（平成27年度町政懇談会参加者数 町内6カ所延べ187人）

■表1 開催日程及び会場、参加者数（16会場18回）

開催日	会場	参加者数（人）
4月18日（水）	両神下薄農民センター	26
4月24日（火）	三田川11区集会所	23
4月25日（水）	原町文化会館	24
4月26日（木）	長留観光農林漁業経営管理事務所	35
4月27日（金）	両神振興会館（両神庁舎3階）昼間	9
5月1日（火）	両神12区集会所	19
5月8日（火）	八谷集会所	26
5月9日（水）	信濃石会館	43
5月11日（金）	役場旧三田川出張所	16
5月14日（月）	両神上薄生活改善センター	19
5月15日（火）	伊豆沢集会所	23
5月17日（木）	長若生活改善センター	28
5月21日（月）	松坂会館	25
5月23日（水）	日尾集会所	18
5月25日（金）	小鹿野文化センター（昼間）	23
	小鹿野文化センター（夜間）	59
5月28日（月）	三ヶ原集会所	28
5月29日（火）	両神振興会館（両神庁舎3階）	46
計		490

## 2 アンケート結果（※4月18日の初回のみアンケート未実施）

### （1）回収率

対象者数 464人（※両神下薄農民センターを除く。）

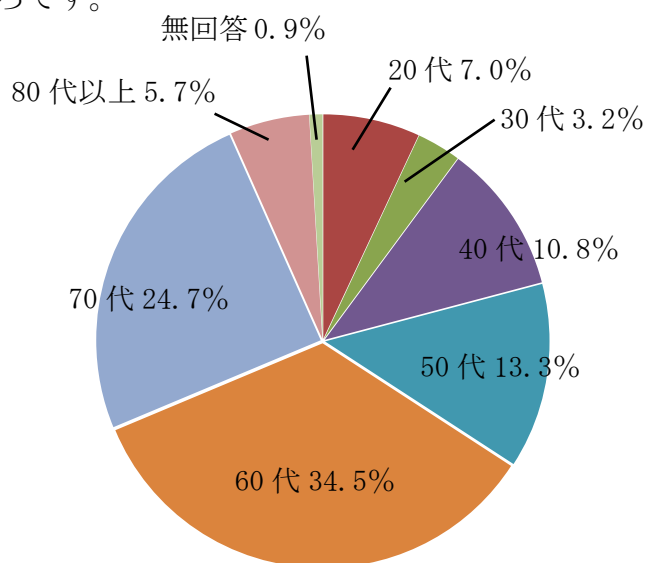
回収数は316人で、全対象者の68.1%にあたります。

#### ① 年齢別

60代以上が64.9%で一番多く、30代以下は10.2%であり、次回は若い人の積極的な参加が望まれるところです。

■表2

区分	人	%
回答総数	316	100.0
10代	0	0.0
20代	22	7.0
30代	10	3.2
40代	34	10.8
50代	42	13.3
60代	109	34.5
70代	78	24.7
80代以上	18	5.7
無回答	3	0.9

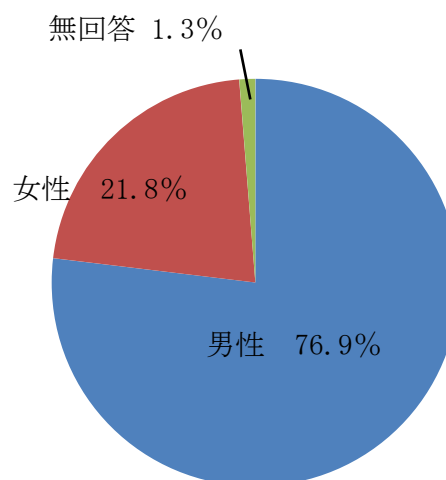


#### ② 性別

男性が243人で全体の76.9%、女性69人で全体の21.8%であり、さらなる女性の参加と意見が望まれます。

■表3

区分	人	%
回答総数	316	100.0
男性	243	76.9
女性	69	21.8
無回答	4	1.3

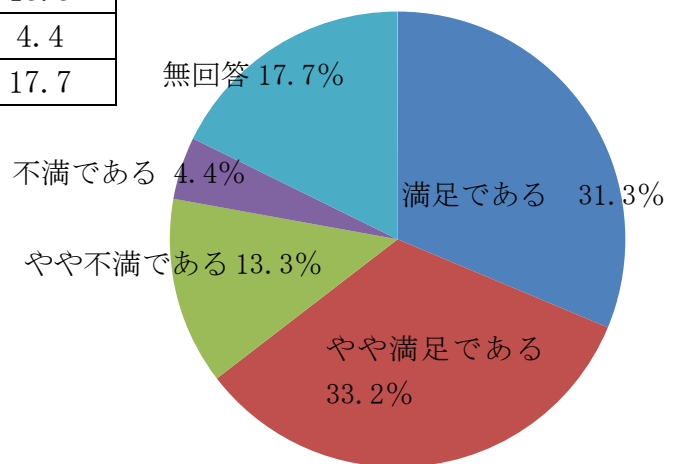


### ③ 町政懇談会の満足度

「満足」と「やや満足」の合計は204人で**64.5%**であり、「不満」と「やや不満」の合計は**17.7%**です。不満意見に対しては、熟慮したいと考えております。

■表4

区分	人	%
回答総数	316	100.0
満足である	99	31.3
やや満足である	105	33.2
やや不満である	42	13.3
不満である	14	4.4
無回答	56	17.7



アンケートの主な意見を以下に示します。

#### 【満足である】と回答した理由

- 庁舎の説明は分かりやすい。
- まちづくりの考え方がわかった。
- 町長の町への思いがよくわかった。
- 庁舎建設の状況、水道事業の状況がよく分かりました。回覧板等での説明では文章を読んでもよく理解できませんので良かったと思います。
- すべての意見に耳をかたむける体制が出来ていて良かった。
- 町政懇談会、時間があれば年2回くらい希望。

#### 【やや満足である】と回答した理由

- 行政が取り組んでいることが理解できた。それぞれ（庁舎・水道）の件について具体的に説明がほしい。
- 事前に資料が配布されていると良かったと思いますが、行政の事について、理解が深まったことは良かったです。
- 森町長の姿勢が大変前向きであって良かった。

### 【やや不満である】と回答した理由

- 現庁舎の面積で満足できるか、職員の駐車場と来場者の駐車場が必要、統合したらたいへんと思った。
- パワーポイントとかでの説明なら良かった。資料が細かくて全体が見えない。
- 当日に資料を見ても内容を吟味し質問することは難しいので、事前に資料を配布（回覧等）してもらえれば助かります。
- 町側の説明ばかりで何のための集まりか？もっと町民の小さな声を聞いてもらいたい。
- 懇談会なのか町政批判なのか分からない者が多い。

### 【不満である】と回答した理由

- 水道ありき、庁舎ありきの説明会でした。もっと落ち着いた町政をして欲しい。もっと地に足をつけて、急がずにやってください。町民の要望に時間をとるべきだと思います。
- 町への意見は1人5分くらいにして多くの方の意見を聞いてほしい。

## 3 自由提言書における庁舎に関する意見

- 町長の意見も分からなくはないのですが・・・耐震基準の整備がととのっている建物を使い、内容他をシンプルに&そのままでも使える所はそのまま使用も「あり」ではないかと思いました。庁舎だけが新しくなっても、町民の方々の意識が変わらないと、何も変わらないと思います。使われていない建物を見て「淋しい町なのネエ」と外から来た人は思うのではないですか？外から来ている人間の意見です。
- 役場の建て替えは賛成、現状の位置に1段上げて車いすが上がるスロープを付ける。裏はダメ。

## 4 町政懇談会における意見

### ◇小鹿野庁舎の位置に肯定的な意見

- 三田川中学校を考えると施設がいっぱいある。スポーツの総合施設とあった形で進めていったらと思う。
- 今の庁舎は分かれています、わかりづらい。建て替える時は1か所がよい。恥ずかしくないような立派なものを造ってほしい。
- 造る以上は秩父市に負けないような良いものを造ってほしい。町長と議員さんで協議して造ってもらえばいいと思う。両神庁舎も活かしていただきたい。
- 庁舎の建替えは必要だ。防災拠点としても長く使えるのがいい。ただ、地方の山の中に行くと派手なものや豪華な庁舎がよくある。そういうものは

必要ない。機能的・合理的・経済的でシンプルなものをお願いする。

- 今後人口減少してくると、いらぬものは消していくことになるので、そのときに残すところは多少お金がかかっても長く使えるものを造ってもらいたい。小鹿野もバス路線を廻す考えで金はかかっても長い目で見て計画的に造ってもらいたい。

#### ◇旧三田川中学校の位置に肯定的な意見

- 人口が減少していて財源も減っているなので、わざわざ新しく造る必要があるのか。旧三田川中学校を補修して利用するのがよいと思う。
- 中学校改修費6億円となっているが、お金を使わなくてもできるのはいか。両神庁舎は残してもらいたい。
- 人口が5000人程度になるという話があった。10億円かけて庁舎を建てて、20年後に秩父市と合併したら、40年間無駄な建物になる計算もできる。であれば、ここは6億円かけて20年もつ建物でよいという考えも成り立つ。

#### ◇庁舎整備は賛成、場所はどちらでもない

- 町民とか外から来る人が一番利用したいところに造ってほしい。お金の問題とかあるが新築で今の場所、改築で旧三田川中学校、色々な意見を聴いてみんなが使いやすいところに建ててもらえばと思う。
- 役場には年に1回行くかどうかなので、役場庁舎機能だけあればよい。気軽に行ける庁舎が良い。

#### ◇庁舎整備に懐疑的な意見

- 長瀬町は新しい庁舎を造るときに、古い木造庁舎を仮庁舎として使っていた。ほとんどそのまま使っていたので、そういう使い方ならお金がかからないと思う。金額は納得できない。
- 新しいものをつくるという考えではなくて、役場をどうにしたら、少子化に向けて活性化できるのかを考えることが大事だ。
- 町の職員を人口減に併せて徐々に減らしていくのが本来の筋だと思う。職員減と耐震補強を含めた検討をお願いしたい。
- 機が熟していない。少子高齢化に対応することが一番先である。あわてず何が必要か考えてもらいたい。庁舎については、どうしても必要な場合は、三田川中に移す。最低の資金でやる。両神庁舎も残す。

#### ◇事業計画に関する意見・質問

- 旧三田川中学校を含め空き公共施設がたくさんあるので、そちらの利活用を並行して示していただかないと納得できない。そうして計画を並行して検討して説明すれば、皆さん納得すると思う。

- 旧三中改築は何をどうすれば6億円もかかるのか。それで何年使えるのか。新築の場合は何年使えるのか。その辺説明がないと判断のしようがない。駐車場や進入路整備とかいくらかかかるか。今のまま使えないのか。最低限度の費用で旧三中を整備して20年後に現在の場所に新築という考えはないか。今の庁舎は使えないのか。
- 三田川中6億とあるが、長若、両神中もある。クアパレスもある。6億もかける必要はない。議場は、両神庁舎が使える。フリーアクセスフロアは必要ない。人口が減ることが問題で20年使えればいいと思う。その時に小さい庁舎でよい。

#### ◇将来展望に関する意見・質問

- 新庁舎建設はよいことだが、20年後、30年後の維持管理費を念頭に入れておいてほしい。
- 小鹿野庁舎は移して、そこをバスターミナルにし、大型観光バスを呼ぶ。町内観光の拠点にする。ターミナルに観光案内所を整備しインバウンド観光を推進する。

## 5 まとめ

町長の説明に対し、強い反対は無く、アンケートにおける満足度の64.5%からも概ね庁舎整備に対するご理解をいただいたと考えております。しかし、既存施設の活用検討を考えながら進めるべきとの御意見も頂戴しておりますので、もう少し時間をかけて丁寧に検討を進める必要があると考えております。

具体的には、今年度、庁舎整備の基本計画・基本設計の予算を計上しておりますが、庁舎建設委員会において知見のある第三者の意見を聞きながら議論を煮詰め、庁舎整備の基本構想(案)を作成し、再度、住民の皆様にご説明し、皆様の生の声を聴かせていただいたうえで、ご理解を得ながら、次のステップに進めればと思います。

また、次回は住民説明会やパブリックコメントなども想定しながら、町政懇談会とは別の形で開催できればと考えております。

庁舎整備費用に関しては、建設及び改修費用だけでなく、解体、外構、引っ越し、システム移転費用等も総合的に計上し、ご意見を拝聴したいと考えております。旧三田川中リフォームに関しては、リフォームのレベルによる費用の差異も検討したいと考えます。

現在、「消滅都市」という言葉が聞かれます。スプロール化した街並みや使われていない建物を見て、ビジネス客や観光客から、「荒廃した活気のない町」との印象を持たれないようにしたいと考えております。現在の街並みを活かしながら、「町の集約化と小鹿野町の顔づくり」が必要であると考えております。一方で、山間部や周辺地域への温かい行政サービスや買物サー

ビスを充実させるために、交通弱者対策も積極的に進める必要があると考えております。

小鹿野町を総合的に再評価しながら、三田川地域はスポーツゾーン、両神地域は観光ゾーン、長若地域は農業・交流ゾーン等として、それぞれの特性を生かした街づくりを住民の皆様と考えたいと思います。

特に小鹿野地域は様々な既存の公共施設や民間施設が集中しております。その特性を生かしながら、コンパクトであるが「活気ある小鹿野町のコアゾーン」としての再構成が必要だと考えております。

街づくりという広い視点と今後の街づくりのコアとして、庁舎の位置を考えて来ましたが、現在地の建替えて、ある程度の理解を得られたと考えております。

空き公共施設の利活用は、庁舎整備と並行して考えるべき大切なテーマです。小鹿野町公共施設等総合管理計画において、今後40年間で延床面積を30%削減とする目標にあるよう、施設の民間への譲渡等、民間活力による運営、また、地域住民との連携、未利用施設の除却等も考える必要があると考えております。